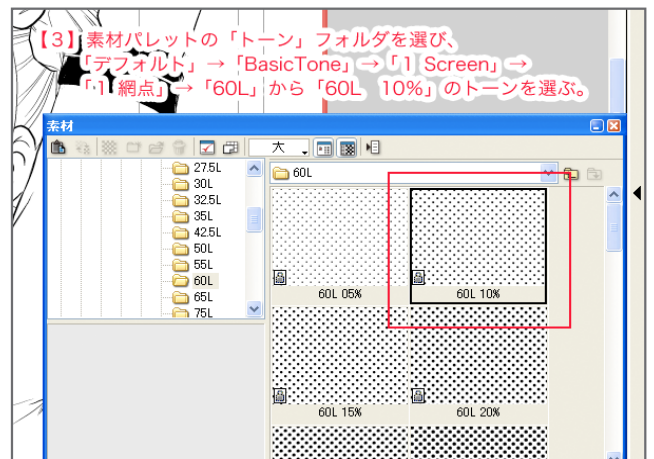


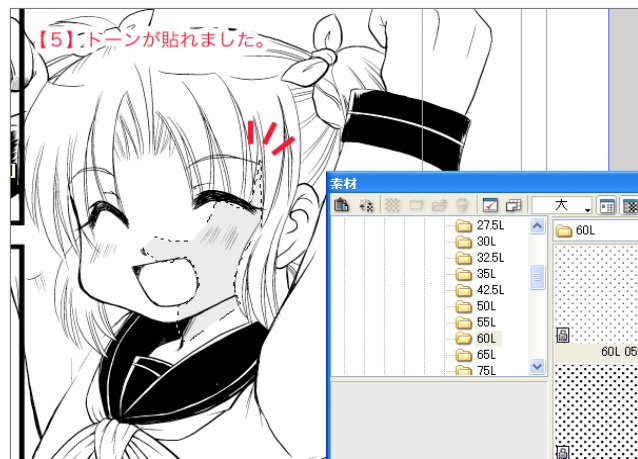
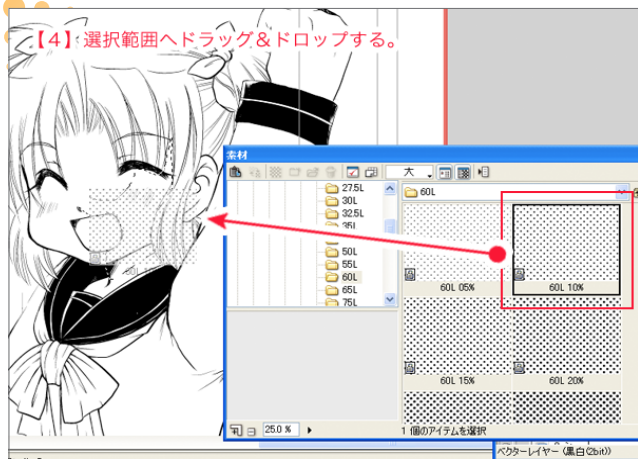
トーンを貼る！

ベタを塗って、集中線を入れて……だんだんマンガっぽくなってきました。次はいよいよトーンを貼っていきましょう。

トーンを貼る！

トーンを貼るのはとっても簡単。貼りたいところを選択して、素材パレットから貼りたいトーンをドラッグ&ドロップすれば貼り付けることができます。範囲を選択する方法はいくつかありますが、今回はフリーハンドで選択範囲を作成する、「投げなわ選択」ツールを使ってやってみたいと思います。とりあえず今回はキャラクターの影の部分に、「60線/10%」のトーンを貼っていきます。





これで、選択した部分にトーンを貼ることができました。

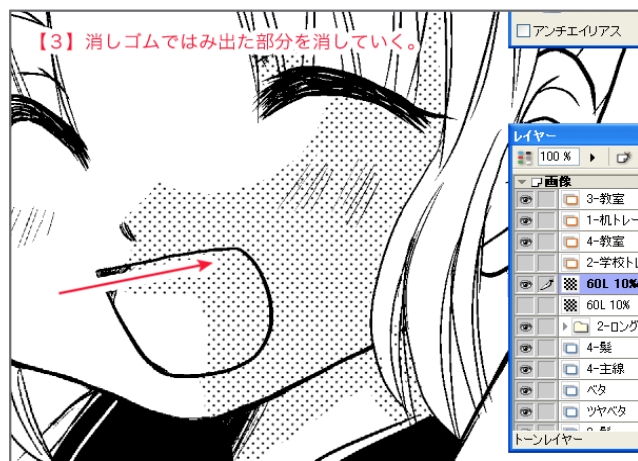
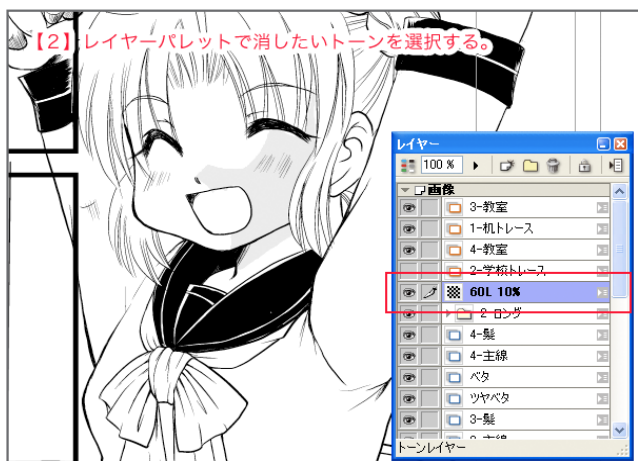
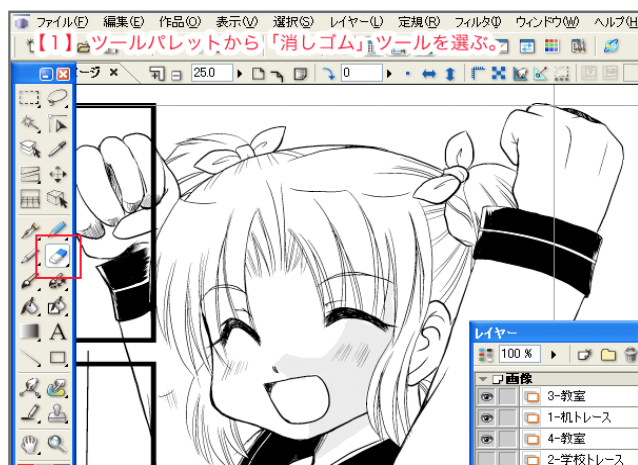
貼ったトーンは後から貼り足したり、消したりが自由なので、トーンを貼るための選択範囲は適当につけてかまいません。では次に、貼ったトーンのはみ出たところを消していきます。

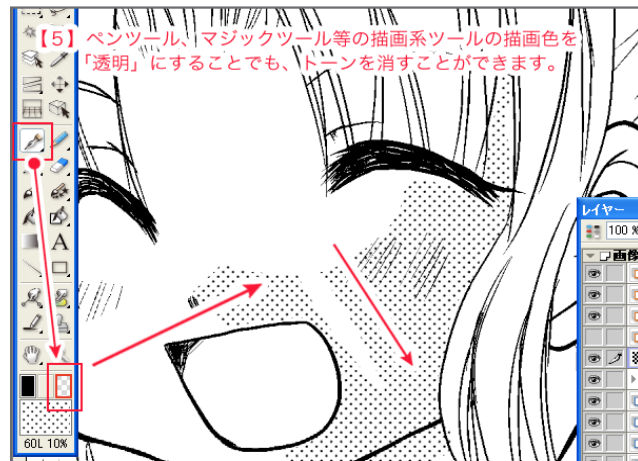
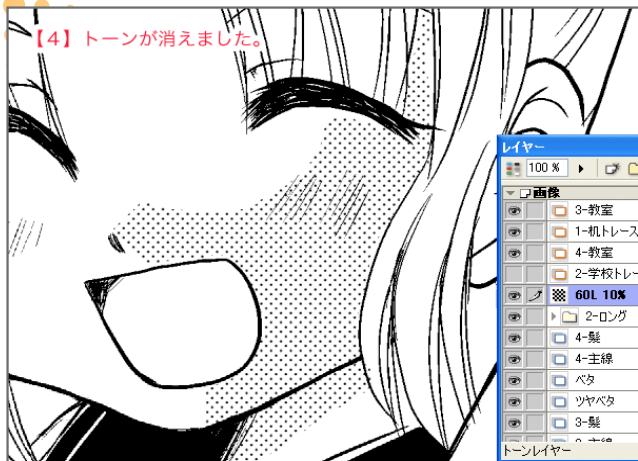
はみ出たトーンを消そう！

次は、貼ったトーンのはみ出たところを消していきます。レイヤーパレットを見ると、トーンのレイヤーが新しく作られているのがわかります。

トーンを消したいときは、消したいトーンのレイヤーを選んで、消しゴムツールで消していけばOKです。

また、消しゴムツールだけではなく、ペンツール、マジックツールなどの描画系ツールで描画色「透明」を選んでトーンを消すことができます。





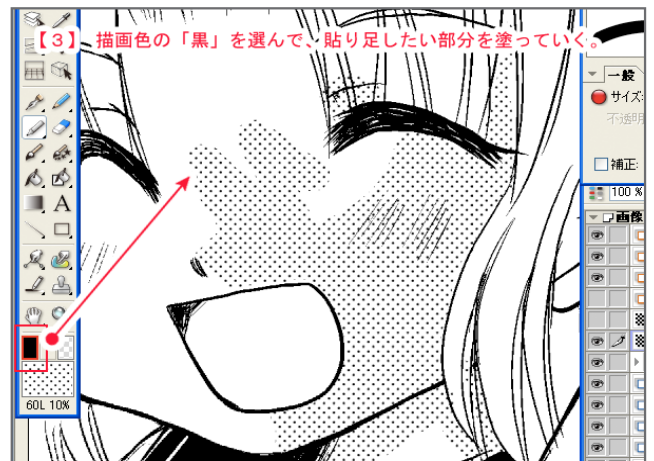
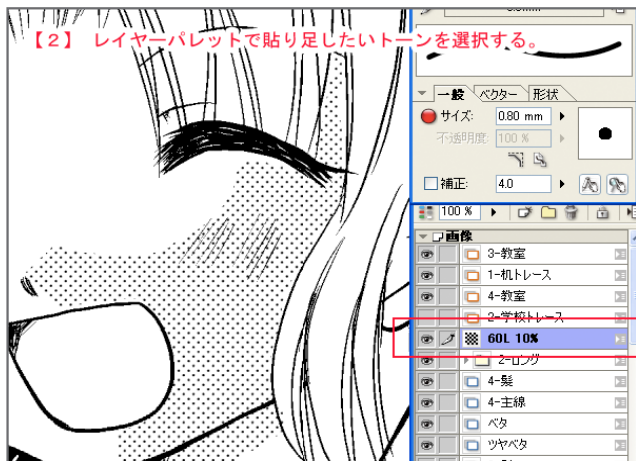
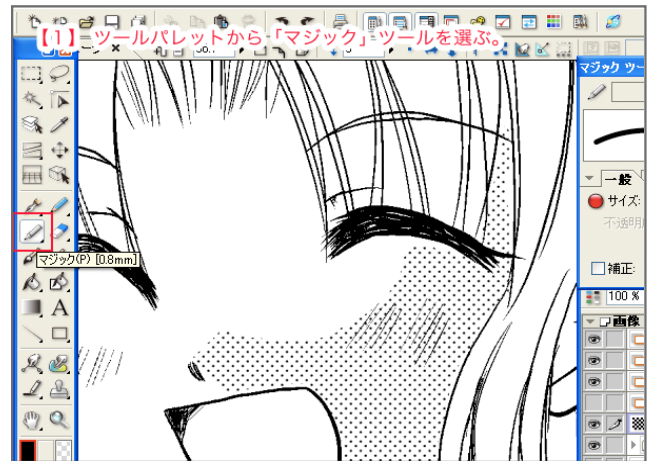
アナログでやっていた「トーンをカッターでぼかすような削り」は、パターンブラシの「トーン削り用」でトーンを消すと似たような効果を出すことができます。

さて、トーンを消したり、削ったりしていると、うっかり消しすぎてしまった時や、「ここもトーン貼ればよかった！」と思うことがあります。そんな時も、ComicStudioでは、ペンで塗る感覚で貼り足すことができます。

トーンを貼り足せ！

トーンを消しすぎてしまった時や、トーンを貼り足したいとき……そんな時も、ComicStudioならペンで塗る感覚でトーンの貼り足しが行えます。

方法は簡単。貼り足したいトーンレイヤーを選択し、マジックツール、ペンツールなどの描画系ツールを選んで、描画色「黒」で塗っていくだけ。これだけで簡単にトーンを貼り足すことができます。



以上の点をおさえておけば、とりあえず原稿にトーンを貼るのには困りません。

次回は、トーンの貼りなおしや、柄の移動など、今回紹介できなかったトーンの基本操作を紹介したいと思います。